

仲谷鈴代記念賞

食欲不振食に対するアンケート調査について（第2報） －改定後の調査結果

大阪市立総合医療センター 栄養部 対馬 和

このたびは、第25回（公社）大阪府栄養士会研究発表会において「仲谷鈴代記念賞」をいただき誠にありがとうございます。

当院では、食欲不振で困っている患者に対して、食欲不振対応食「1品食」を提供しています。この1品食については、より多くの患者に食べていただけるよう定期的に評価を行い、メニューの見直しを行うことが重要と考えています。そこで今回、食事調査を実施し、その調査結果をもとにメニュー改定を行いました。当初のメニューであった「ラーメン」「たこ焼き」「冷奴」「日替わりスープ」は廃止し、新たに「グラタン」「焼きそば」「ナポリタン」「クリームパスタ」「コンソメスープ」「パンプキンスープ」を追加しました。また、改定後の1品食に対する評価について、前回と同様の方法で調査しました。

調査結果より、新メニューの選択率は比較的高いことがわかり、改定後のメニューは患者のニーズを反映していると考えられました。しかしその反面、「量が多い」「盛り付けが悪い」などの意見や、スープを除くすべての温かい料理で「冷めている」という意見が聞かれ、これらが満足度を低下させていると考えられました。

今後は温度、量、盛り付けについても改善できるよう、栄養部内でも対策を検討し、1品食のさらなる満足度UPに向けて努力していきます。また定期的なメニューの検討・見直しを継続し、制約のある中でも多くの患者さんのニーズに合う食事を提供していきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の発表にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様、ご推薦いただきました座長の先生方に深く御礼申し上げます。

仲谷鈴代記念賞

校内における効果的な食育モデルの検討 ～自然に健康になれる食環境づくりを目指して～

大阪府四條畷保健所 上田 未来

このたびは、第25回（公社）大阪府栄養士会研究発表会において「仲谷鈴代記念賞」をいただき、誠にありがとうございました。

生涯にわたって健康な生活を送るためには、若い世代から健康に関する意識や行動等を踏まえた健康づくりへの取り組み支援を行うこと、また社会環境が大きく変化する中で、自主的な健康行動を実践しやすい環境整備の推進が重要です。本事業では、高校生と大学生の食生活の現状や校内の食環境の実態を把握し、望ましい食環境整備を目指した効果的な食育モデルを検討しました。

若い世代において、自らが健康的な食生活を身につけるためには、健康リスクだけではなく、なりたい自分をイメージさせること等、別のアプローチを加えて、意欲の向上につながる情報提供にすることや、身近である校内で食環境に対して積極的な対策はされていなかったこと

から、健康に配慮した食品を選択しやすい食環境が推進されるための取り組みモデルを提示していく必要があります。望ましい習慣や食環境を実現していくためには、生徒・学生や保護者、学校及び関係者等が課題意識を持ち、改善に向けて、地域で連携・協働を図りながら支援していくことが求められると感じました。

今回の経験を活かしながら、今後も行政栄養士として住民の健康づくりに寄与できるように努めていきたいと思えます。

最後になりましたが、本事業の趣旨を理解しご協力いただいた学校関係者の皆様、生徒・学生の皆様、及び講演会の講師をご快諾いただいた皆様に心より感謝いたします。また、今回の発表にあたり、ご協力いただきました皆様、ご推薦いただきました座長の先生をはじめ関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。